学校だより
【7月３日号】

校長室より⑦　サテライト研修会

総社市内全校園で取り組んでいるだれもが行きたくなる学校づくりのサテライト研修会が、6/19（木）総社小学校でありました。約150名程度の教員が集まり、SEL（Social and Emotional Learning）と品格教育として毎月のテーマに沿った道徳の授業を行っているところを観ていただきました。SELは社会性と情動の学習と言われます。いろいろな場面や出来事に出くわした時に自分自身の内面に起こる感情を理解したり他者の表情や仕草等から感情をうかがい知ったりする中で自分自身をコントロールすることをねらいとする学習です。道徳の研究では、自分自身を振り返り、見つる中で道徳的心情を養うこと。生活の中で良い行動をしっかり見取る、認める中で、道徳的実践力を育てることをねらいとしました。SELも道徳も根底にあるのは、本校がずうっと大切にしてきたお互いを認め合うことです。決して真新しいことではなく今までオールそうじゃみんなで実践してきたことを整理して発表しました。

校長室より⑧　生活にいきて働いている力

ー昨日、地域の方が教えてくださったお話です。おばあさんがマルナカで買い物をしてリュクに荷物をいれて背負っていると小学生の女の子が「重くないですか？持ちましょうか」と声をかけてきたそうです。ちょうど6月の品格教育のテーマは‘思いやり’道徳の授業で、自分自身を見つめ、みんなで話してきた内容です。心情はもちろん生活の中で実践に結びついていることがすばらしいです。この話はすぐ先生方に紹介しました。日々の積み重ねがこうして形となって表われることはうれしいことだなあと職員室がほっこりとした雰囲気に包まれました。